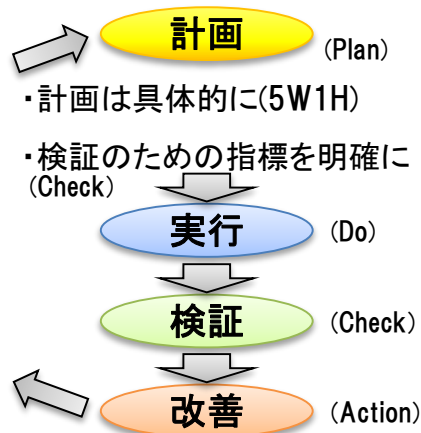
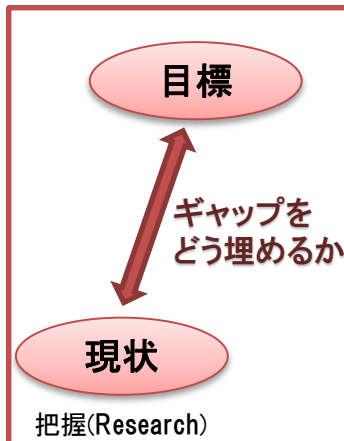


継続的な検証改善サイクルを確立しよう。

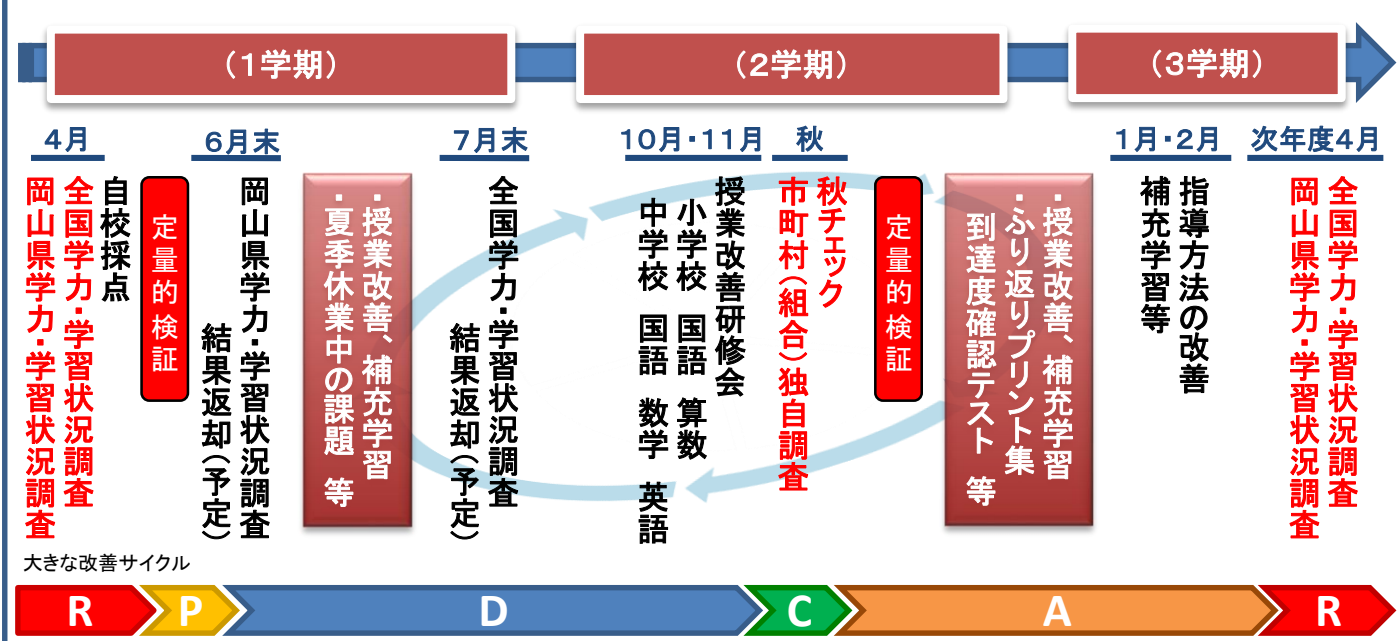
4月17日の全国及び県学力・学習状況調査の実施に当たっては、大変お世話になりました。今年度も各学校における学力向上の「指令塔」として、組織的・効果的な取組の推進をよろしくお願ひします。

学力・学習状況調査の目的

学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、今までの取組の成果と課題を検証し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てるとともに、継続的な検証改善サイクルを確立することが目的です。



学力・学習状況調査等を活用した授業改善・学力向上のRPDCA(イメージ)



学力・学習状況調査と秋の調査等の結果から、児童生徒の現状を継続的に把握(Research)、検証(Check)することで、授業改善の取組をさらに充実・徹底させることができるね。

学力向上のために年度始めに大切にしたいこと

- 「**学習規律**」…学習についてのルールを確認して、指導の徹底を図ること
- 「**学習習慣**」…家庭との連携を進め、家庭学習習慣を含めた、望ましい生活習慣を確立すること
- 「**指導体制**」…管理職と連携し、「個に応じた指導」ができる体制を確立すること

▶▶ 「学習指導のスタンダード」「家庭学習のスタンダード」などを効果的に活用



今年度も県からの情報に加え、推進チームや他県の先進的な取組等を発信し、みなさんの活動に役立つ通信にしていける予定です。